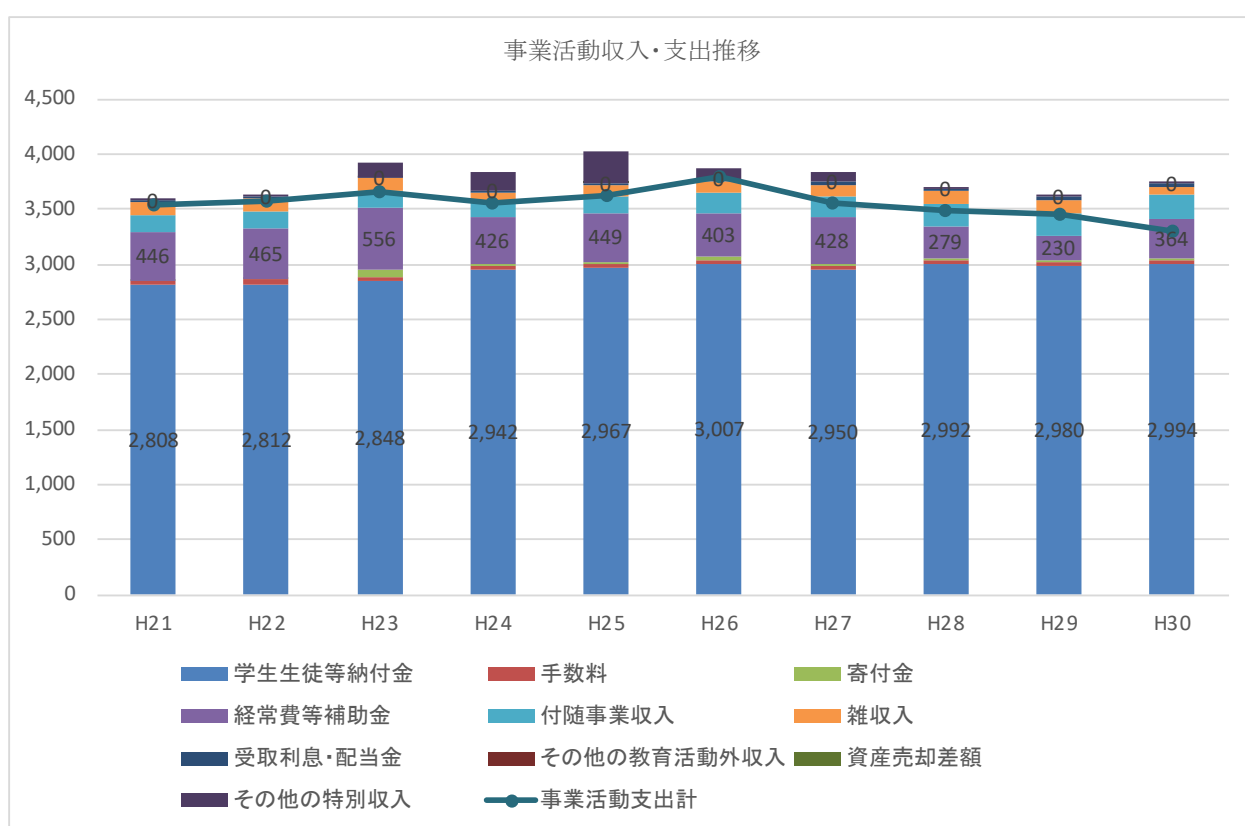


#### 4-(2)-① 平成30年度 財務の概要

##### 1) 概況

平成30年度決算では事業活動収入が3,732百万円となり、昨年度の3,613百万円から119百万円の増加となりました。これは学生生徒等納付金が昨年度から14百万円増加していること、経常費補助金において昨年度は定員超過による減額があったものが、今年度はほぼ例年並みとなったことによるものです。事業活動支出は3,307百万円で、昨年度の3,452百万円から145百万円減少しております。これは支出の厳格化により事業活動支出を抑制できたことが原因です。

基本金組入前当年度収支差額はプラス425百万円で、昨年を引き続き10年連続プラスとなっています。また、当年度収支差額は、会計基準変更によるものを除くと開学以降初めてプラスとなりました。



##### 2) 資金収支計算書

収入の部、支出の部合計は予算額より176百万円増の5,509百万円となっています。

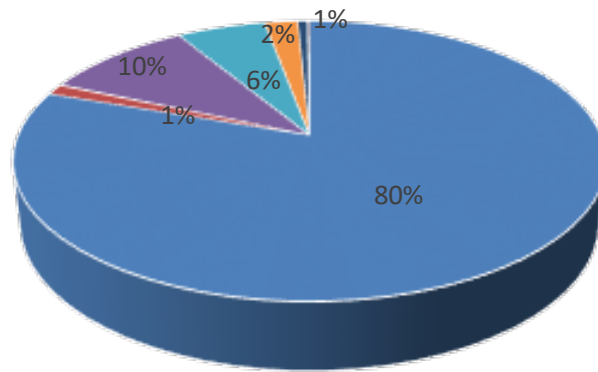
収入の部で前受金収入が予算対比で増加していることが原因です。結果として、翌年度繰越支払資金が予算額より372百万円増となっています。

支出の部では、トイレおよび空調の改修に伴い施設・設備関係支出が228百万円となっております。

##### 3) 事業活動収支計算書

収入の主となる学生生徒等納付金は、前年度より14百万円増加し、2,994百万円となりました。

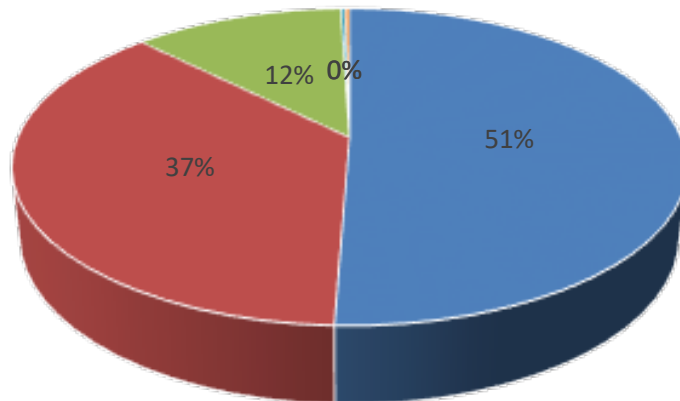
### 事業活動収入比率



- 学生生徒等納付金
- 経常費等補助金
- 教育活動外収入計
- 手数料
- 付随事業収入
- 特別収入計
- 寄付金
- 雑収入

基本金組入前当年度収支差額は予算に対して増加し、425百万円となりました。これは支出の厳格化により事業活動支出を抑制できたことが原因です。結果として基本金組入前減価償却前収支差額(キャッシュフロー)は967百万円となっています。

### 事業活動支出比率



- 人件費
- 徴収不能額等
- 教育研究経費
- 教育活動外支出計
- 管理経費
- 特別支出計

#### 4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金返済が順調に進んでおります。教育用機器のリース未払いについても順調に支払いが進んでおり、前受金を除いた負債比率6.3%と、昨年度より1.8ポイント減少しています。資産の部は建物、構築物、機器備品等の減価償却が進んだこと等により、有形固定資産が309百万円減少しました。一方、特定資産の順調な組み入れ、現預金等の流動資産の増加により、特定資産と流動資産の合計は昨年度より471百万円増の4,179百万円となっています。